

資料No.「業務1－21」

自治体業務アプリケーションユニット標準仕様
【標準仕様の記載ルール】

V3.5



一般財団法人全国地域情報化推進協会

目 次

本書の位置づけ	1
1. 標準仕様の策定ドキュメント	2
1. 1 業務ユニットの定義	3
1. 1. 1 機能一覧	3
1. 1. 2 機能構成図(DMM)	5
1. 1. 3 機能情報関連図(DFD)	7
1. 1. 4 インタフェース仕様	9
1. 1. 5 データ一覧	11
1. 1. 6 インタフェース一覧	13
1. 1. 7 XMLスキーマ	15
1. 1. 8 WSDL定義	16
1. 2 辞書の定義	17
1. 2. 1 項目セット辞書	17
1. 2. 2 コード辞書	19
2. 附則	21
2. 1 業務ユニット番号の付番	21
2. 2 機能番号の付番	22
2. 3 スキーマの命名	23
2. 4 項目セット辞書の命名	24

本書の位置づけ

本書「自治体業務アプリケーションユニット標準仕様【標準仕様の記載ルール】」は、同標準仕様に掲載している以下のドキュメントに関する記載ルールを規定したものである。

今後、新たな業務ユニットの標準仕様を策定するに当たっては、本書の記載ルールに沿って作成することで、地域情報プラットフォーム標準仕様（APPLIC標準仕様）として統一され、様々な業務ユニットとのインタフェース連携の分析や開発等が容易となる。

掲載資料一覧

<業務ユニット間のデータ連携関連>

業務1－4	機能一覧
業務1－5	機能構成図（DMM）
業務1－6	機能情報関連図（DFD）
業務1－7	インタフェース仕様
業務1－8	データ一覧
業務1－9	インタフェース一覧
業務1－10	XMLスキーマ
業務1－11	WSDL定義
業務1－12	項目セット辞書
業務1－13	コード辞書

1. 標準仕様の策定ドキュメント

自治体業務アプリケーションユニット標準仕様で策定するドキュメントは、以下に大別される。

- ・業務ユニットの定義：業務ユニットに関する定義
- ・辞書の定義：複数の異なる業務ユニットで共通的に使用される再利用可能な定義

(※辞書の定義は、策定作業の効率化と品質向上を実現することを目的とする。)

①業務ユニットの定義

自治体業務アプリケーションユニットにおける業務ユニットの定義に関するドキュメントを以下に示す。
業務ユニットを定義する場合は、業務ユニット毎に、以下のドキュメントを策定するものとする。

No.	ドキュメント名	内容
1	機能一覧	各業務ユニットが提供する機能を一覧形式にて説明したもの。
2	機能構成図(DMM)	機能一覧に従い、各業務ユニットの機能を明示的に階層化し、その構成を表したもの。
3	機能関連図(DFD)	業務ユニット間の情報の相関関係と連携(流れ)を階層単位に示したもの。
4	インタフェース仕様	業務ユニット間のデータ連携におけるデータ項目とその入出力状態を明細化したもの。
5	データ一覧	各業務ユニットが所管するデータにおいて、他の業務ユニットからデータ連携(SOAP 呼び出し)にて参照されるものを集約したもの。
6	インタフェース一覧	各業務ユニット間にてデータ連携するインタフェース(SOAP 呼び出し)を定義したもの。
7	XMLスキーマ	データ一覧に従い生成した XML スキーマ。
8	WSDL定義	インタフェース一覧に従い生成した、各業務ユニット間インタフェースの WSDL 定義。

②辞書の定義

自治体業務アプリケーションユニットにおける辞書の定義に関するドキュメントを以下に示す。

尚、「自治体業務アプリケーションユニット標準仕様」で定める辞書の定義は、自治体業務アプリケーションユニット・シリーズで共通的に使用されるものである。固有の業務ユニットで辞書の定義を必要とする場合には、同標準仕様の辞書の定義とは別に策定するものとする。

No.	ドキュメント名	内容
1	項目セット辞書	各業務ユニット間の連携データ項目において、共通的なリファレンスとなるデータ項目の型を定義した辞書。
2	コード辞書	各業務ユニット間の連携データ項目において、共通的なリファレンスとなるデータ項目のコードを定義した辞書。

1.1 業務ユニットの定義

1.1.1 機能一覧

(1) 概要

機能一覧では、業務ユニットに含まれる機能を定義し、その機能の内容を文章で説明する。

機能は、階層構造で定義する。最下位の機能レベル(下記の例では機能(レベル02))は、一般的に妥当性が高いと思われる機能単位機能の単位としての機能を、上位の機能レベルは、下位レベルの機能をグループ化したものにする。

また、機能一覧は、機能構成図(DMM)・機能情報関連図(DFD)と機能番号で関連づける。

・記載イメージ

機能一覧		業務名
		1.住民基本台帳
機能(レベル01)	機能(レベル02)	機能説明
1.1.異動(増加)	1.1.1.転入	住民の届出に基づき、住民基本台帳に世帯情報、個人情報を追加する。
	1.1.2.戸籍届出による異動(増加)	戸籍の届出に基づき、住民基本台帳に世帯情報、個人情報を追加する。(出生、国籍取得、帰化)
1.2.異動(減少)	1.2.1.転出	住民の届出に基づき、住民基本台帳から世帯情報、個人情報を削除する。
	1.2.2.戸籍届出による異動(減少)	戸籍の届出に基づき、住民基本台帳から世帯情報、個人情報を削除する。(死亡、失踪宣告、国籍喪失)
1.3.異動(変更)	1.3.1.転居	住民の届出に基づき、住民基本台帳上の世帯情報、個人情報の住所要件(住所や世帯構成員、続柄)を変更する。
	1.3.2.世帯変更	住民の届出に基づき、住民基本台帳上の世帯情報、個人情報を変更する。(世帯合併、分離、世帯主変更、世帯変更)
	1.3.3.戸籍届出による異動(増減なし)	戸籍の届出に基づき、住民基本台帳上の世帯情報、個人情報の戸籍要件(氏名、本籍、筆頭者、続柄)を変更する。(氏名変更、婚姻、離婚、転籍、戸籍訂正等)
	1.3.4.住民票記載事項の変更	職権により、住民基本台帳の世帯情報、個人情報を変更する。(住居表示、通知により)
	1.3.5.その他変更	外国人登録により、住民基本台帳の個人情報を追加、変更する。
1.4.照会	1.4.1.住民票情報照会	世帯情報、個人情報に登録された情報を表示する。
	1.4.2.住基カード発行状況照会	住民基本台帳カードの発行状況を表示する。
1.5.発行	1.5.1.証明書交付	住民の申請に基づき、証明書(住民票、住民票記載事項証明書等)を出力する。
	1.5.2.通知発行	他市区町村、住民へ各種通知(転入通知、附票記載事項通知、住民票コード通知等)を送付する。
1.6.統計・報告	1.6.1.統計・報告(都道府県、関係機関)	都道府県に対し、各種統計情報(転入・転出者数表等)を送付する。
	1.6.2.統計・報告(統計部門)	他部署(統計部門)に対して、各種統計情報(年齢別統計、人口ピラミッド等)を送付(開示)する。
1.7.閲覧	1.7.1.住民閲覧	住民に対し、世帯情報、個人情報を閲覧する。

図 1.1.1 機能一覧

・記載内容

No.	項目名	内容
1	業務名	業務ユニットの名称
2	機能	機能の名称
3	機能説明	機能の概要説明

(2) ルール

・機能の階層構造

No.	内容
1	機能は階層構造にする。
2	機能の階層数は、任意。(推奨は2階層。)
3	機能の階層数は、業務ユニット毎に定める。
4	機能の階層数は、業務ユニット内で統一する。
5	最下位の機能レベルは、一般的な機能の単位にする。
6	上位の機能レベルは、下位レベルの機能をグループ化したものにする。
7	1機能に含まれる下位機能の数は任意。(推奨は3～8機能。)

・機能名

No.	内容
1	機能名は、機能をイメージできる表現にする。
2	機能名は、「～処理」は用いない。

・機能説明

No.	内容
1	機能説明は、「～を行う」等の動詞で表現する。

・その他

No.	内容
1	業務名の欄には、業務ユニット番号と業務ユニット名を記載する。
2	機能名の欄には、機能番号と機能名を記載する。

(3) 留意事項

- ・標準仕様は業務ユニット間のデータ連携を規定することが主目的であるため、各業務ユニットの内部(実装)機能までは規定しない。よって、機能一覧でも、データ連携が発生する業務機能を中心に記載し、データ連携が発生しない(当該業務ユニット内に閉じた)業務機能については最低限標準として必要なものに限定して記載する。
- ・業務機能は、当該業務の根拠法令、自治体の導入事例、ベンダの製品事例などを十分に加味し、標準仕様として妥当と位置づけられるものを中心に定義する。逆に、自治体の地域特性によって異なる業務機能など、標準仕様に馴染まないものは定義しない。
- ・機能階層は、同類の機能をグループ化することにより、仕様を分かり易くする為のものである。機能階層は業務ユニットの実装を規定するものではない。
- ・機能名と機能番号は、機能一覧・機能構成図(DMM)・機能情報関連図(DFD)において整合性をとる。

1.1.2 機能構成図(DMM)

(1)概要

機能構成図(DMM)では、機能一覧で定義した業務ユニット内の機能の構成を階層的に表現する。

機能構成図(DMM)は、機能の階層毎に定義する。

又、機能構成図(DMM)は、機能一覧・機能情報関連図(DFD)と機能番号で関連づける。

・記載イメージ

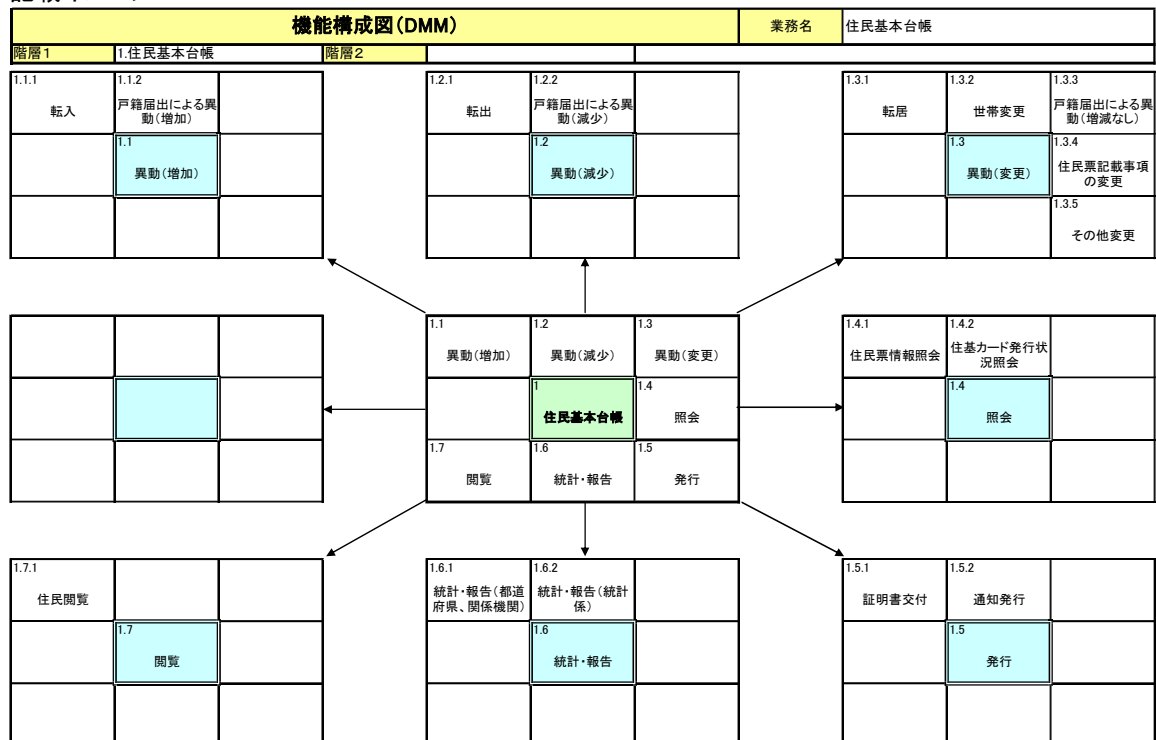


図 1.1.2 機能構成図(DMM)

・記載内容

No.	項目名	内容
1	階層1	業務ユニットの名称
2	階層2	階層2の場合、機能(レベル01)の機能の名称

(2) ルール

・全般

No.	内容
1	DMM(Diamond Mandala Matrix)の手法で表現する。 (・中央の格子の中心のマスに、業務ユニット名を記載する。 ・中央の格子の周辺の8つのマスに、業務ユニットを構成する機能(レベル01)を記載する。 ・周囲にある8つの格子の中心のマスに、機能(レベル01)を記載する。 ・周囲の8つの格子の周辺の8つのマスに、機能(レベル02)を記載する。)
2	マスには、機能番号と機能名を記載する。
3	1つの機能構成図(DMM)には、例えば、レベル01とレベル02等、2つの階層を表現する。
4	機能の階層が3階層以上の場合には、下位の階層のDMMを作成する。

(3) 留意事項

- ・機能名と機能番号は、機能一覧・機能構成図(DMM)・機能情報関連図(DFD)において整合性をとる。

(2) ルール

・全般

No.	内容
1	機能の階層毎に作成する。
2	各階層の間で整合性をとる。
3	下位階層の情報は上位階層に継承する。

・情報の流れ

No.	内容
1	情報の流れには、双方向の矢印は使わない。双方向の場合には個別に記載する。
2	必須の場合は、情報名の先頭に「・」。条件付きの場合は、「※」とともに条件を記載する。
3	情報名は、極力「業務名+情報」とする。 住民基本台帳は「住基情報」で統一する。

・機能、外部環境

No.	内容
1	機能には、機能番号と機能名を記載する。

(3) 留意事項

- ・機能情報関連図(DFD)は、現場の業務機能をシステムが処理すべき情報の視点から整理する。対象となる業務がシステム化されているか否かにかかわらず作成する。具体的にどのようなソフトウェアや情報技術が適用されるかは、全く関係しない。
- ・機能名と機能番号は、機能一覧・機能構成図(DMM)・機能情報関連図(DFD)において整合性をとる。
- ・情報名は、機能情報関連図(DFD)の階層1・インタフェース仕様、データ一覧において整合性をとる。
- ・情報名の必須／条件付きは、該当事務処理を行う際に、必ず情報が入力または出力される場合は「必須情報名」、条件により入力または出力される場合は「条件につき必要になる情報名」とする。ただし、申請書等(添付書類は除く)に関しては、条件により入力または出力される場合でも「必須情報名」とする。

1.1.4 インタフェース仕様

(1)概要

インタフェース仕様では、業務ユニット間で連携するデータ項目と入出力を表す。

情報項目は、「項目セット辞書」に対応する項目構造がある場合には、その項目セット辞書を適用する。

情報項目をコード化する場合には、「コード辞書」を確認し、適用するコードを決定する。「コード辞書」の中に該当のコードがない場合は、新規にコードを定義する。

また、インタフェース仕様は、機能情報関連図 (DFD) の階層1と情報名で関連づける。

・記載イメージ

インタフェース仕様 (ユニット)					業務ユニット番号: 1	業務ユニット名: 住民基本台帳																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
NO	情報名	コード		データ型	桁数	項目説明	ユニット(家賃)																														外部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		CD	コード名				1 住民基本台帳	2 印刷登録	3 外国人登録	4 外国人登録	5 固定資産税	6 法人住民税	7 法人住民税	8 軽自動車税	9 取得納税	10 国民健康保険	11 国民年金	12 障害者福祉	13 介護保険	14 介護保険	15 介護保険	16 介護保険	17 ひき出し税	18 ひき出し税	19 介護保険	20 介護保険	21 介護保険	22 介護保険	23 介護保険	24 介護保険	25 介護保険	26 介護保険	27 介護保険	28 介護保険	29 介護保険	30 介護保険	31 介護保険	32 介護保険	33 介護保険	34 介護保険	35 介護保険	36 介護保険	37 介護保険	38 介護保険	39 介護保険	40 介護保険	41 介護保険	42 介護保険	43 介護保険	44 介護保険	45 介護保険	46 介護保険	47 介護保険	48 介護保険	49 介護保険	50 介護保険	51 介護保険	52 介護保険	53 介護保険	54 介護保険	55 介護保険	56 介護保険	57 介護保険	58 介護保険	59 介護保険	60 介護保険	61 介護保険	62 介護保険	63 介護保険	64 介護保険	65 介護保険	66 介護保険	67 介護保険	68 介護保険	69 介護保険	70 介護保険	71 介護保険	72 介護保険	73 介護保険	74 介護保険	75 介護保険	76 介護保険	77 介護保険	78 介護保険	79 介護保険	80 介護保険	81 介護保険	82 介護保険	83 介護保険	84 介護保険	85 介護保険	86 介護保険	87 介護保険	88 介護保険	89 介護保険	90 介護保険	91 介護保険	92 介護保険	93 介護保険	94 介護保険	95 介護保険	96 介護保険	97 介護保険	98 介護保険	99 介護保険	100 介護保険	101 介護保険	102 介護保険	103 介護保険	104 介護保険	105 介護保険	106 介護保険	107 介護保険	108 介護保険	109 介護保険	110 介護保険	111 介護保険	112 介護保険	113 介護保険	114 介護保険	115 介護保険	116 介護保険	117 介護保険	118 介護保険	119 介護保険	120 介護保険	121 介護保険	122 介護保険	123 介護保険	124 介護保険	125 介護保険	126 介護保険	127 介護保険	128 介護保険	129 介護保険	130 介護保険	131 介護保険	132 介護保険	133 介護保険	134 介護保険	135 介護保険	136 介護保険	137 介護保険	138 介護保険	139 介護保険	140 介護保険	141 介護保険	142 介護保険	143 介護保険	144 介護保険	145 介護保険	146 介護保険	147 介護保険	148 介護保険	149 介護保険	150 介護保険	151 介護保険	152 介護保険	153 介護保険	154 介護保険	155 介護保険	156 介護保険	157 介護保険	158 介護保険	159 介護保険	160 介護保険	161 介護保険	162 介護保険	163 介護保険	164 介護保険	165 介護保険	166 介護保険	167 介護保険	168 介護保険	169 介護保険	170 介護保険	171 介護保険	172 介護保険	173 介護保険	174 介護保険	175 介護保険	176 介護保険	177 介護保険	178 介護保険	179 介護保険	180 介護保険	181 介護保険	182 介護保険	183 介護保険	184 介護保険	185 介護保険	186 介護保険	187 介護保険	188 介護保険	189 介護保険	190 介護保険	191 介護保険	192 介護保険	193 介護保険	194 介護保険	195 介護保険	196 介護保険	197 介護保険	198 介護保険	199 介護保険	200 介護保険	201 介護保険	202 介護保険	203 介護保険	204 介護保険	205 介護保険	206 介護保険	207 介護保険	208 介護保険	209 介護保険	210 介護保険	211 介護保険	212 介護保険	213 介護保険	214 介護保険	215 介護保険	216 介護保険	217 介護保険	218 介護保険	219 介護保険	220 介護保険	221 介護保険	222 介護保険	223 介護保険	224 介護保険	225 介護保険	226 介護保険	227 介護保険	228 介護保険	229 介護保険	230 介護保険	231 介護保険	232 介護保険	233 介護保険	234 介護保険	235 介護保険	236 介護保険	237 介護保険	238 介護保険	239 介護保険	240 介護保険	241 介護保険	242 介護保険	243 介護保険	244 介護保険	245 介護保険	246 介護保険	247 介護保険	248 介護保険	249 介護保険	250 介護保険	251 介護保険	252 介護保険	253 介護保険	254 介護保険	255 介護保険	256 介護保険	257 介護保険	258 介護保険	259 介護保険	260 介護保険	261 介護保険	262 介護保険	263 介護保険	264 介護保険	265 介護保険	266 介護保険	267 介護保険	268 介護保険	269 介護保険	270 介護保険	271 介護保険	272 介護保険	273 介護保険	274 介護保険	275 介護保険	276 介護保険	277 介護保険	278 介護保険	279 介護保険	280 介護保険	281 介護保険	282 介護保険	283 介護保険	284 介護保険	285 介護保険	286 介護保険	287 介護保険	288 介護保険	289 介護保険	290 介護保険	291 介護保険	292 介護保険	293 介護保険	294 介護保険	295 介護保険	296 介護保険	297 介護保険	298 介護保険	299 介護保険	300 介護保険	301 介護保険	302 介護保険	303 介護保険	304 介護保険	305 介護保険	306 介護保険	307 介護保険	308 介護保険	309 介護保険	310 介護保険	311 介護保険	312 介護保険	313 介護保険	314 介護保険	315 介護保険	316 介護保険	317 介護保険	318 介護保険	319 介護保険	320 介護保険	321 介護保険	322 介護保険	323 介護保険	324 介護保険	325 介護保険	326 介護保険	327 介護保険	328 介護保険	329 介護保険	330 介護保険	331 介護保険	332 介護保険	333 介護保険	334 介護保険	335 介護保険	336 介護保険	337 介護保険	338 介護保険	339 介護保険	340 介護保険	341 介護保険	342 介護保険	343 介護保険	344 介護保険	345 介護保険	346 介護保険	347 介護保険	348 介護保険	349 介護保険	350 介護保険	351 介護保険	352 介護保険	353 介護保険	354 介護保険	355 介護保険	356 介護保険	357 介護保険	358 介護保険	359 介護保険	360 介護保険	361 介護保険	362 介護保険	363 介護保険	364 介護保険	365 介護保険	366 介護保険	367 介護保険	368 介護保険	369 介護保険	370 介護保険	371 介護保険	372 介護保険	373 介護保険	374 介護保険	375 介護保険	376 介護保険	377 介護保険	378 介護保険	379 介護保険	380 介護保険	381 介護保険	382 介護保険	383 介護保険	384 介護保険	385 介護保険	386 介護保険	387 介護保険	388 介護保険	389 介護保険	390 介護保険	391 介護保険	392 介護保険	393 介護保険	394 介護保険	395 介護保険	396 介護保険	397 介護保険	398 介護保険	399 介護保険	400 介護保険	401 介護保険	402 介護保険	403 介護保険	404 介護保険	405 介護保険	406 介護保険	407 介護保険	408 介護保険	409 介護保険	410 介護保険	411 介護保険	412 介護保険	413 介護保険	414 介護保険	415 介護保険	416 介護保険	417 介護保険	418 介護保険	419 介護保険	420 介護保険	421 介護保険	422 介護保険	423 介護保険	424 介護保険	425 介護保険	426 介護保険	427 介護保険	428 介護保険	429 介護保険	430 介護保険	431 介護保険	432 介護保険	433 介護保険	434 介護保険	435 介護保険	436 介護保険	437 介護保険	438 介護保険	439 介護保険	440 介護保険	441 介護保険	442 介護保険	443 介護保険	444 介護保険	445 介護保険	446 介護保険	447 介護保険	448 介護保険	449 介護保険	450 介護保険	451 介護保険	452 介護保険	453 介護保険	454 介護保険	455 介護保険	456 介護保険	457 介護保険	458 介護保険	459 介護保険	460 介護保険	461 介護保険	462 介護保険	463 介護保険	464 介護保険	465 介護保険	466 介護保険	467 介護保険	468 介護保険	469 介護保険	470 介護保険	471 介護保険	472 介護保険	473 介護保険	474 介護保険	475 介護保険	476 介護保険	477 介護保険	478 介護保険	479 介護保険	480 介護保険	481 介護保険	482 介護保険	483 介護保険	484 介護保険	485 介護保険	486 介護保険	487 介護保険	488 介護保険	489 介護保険	490 介護保険	491 介護保険	492 介護保険	493 介護保険	494 介護保険	495 介護保険	496 介護保険	497 介護保険	498 介護保険	499 介護保険	500 介護保険	501 介護保険	502 介護保険	503 介護保険	504 介護保険	505 介護保険	506 介護保険	507 介護保険	508 介護保険	509 介護保険	510 介護保険	511 介護保険	512 介護保険	513 介護保険	514 介護保険	515 介護保険	516 介護保険	517 介護保険	518 介護保険	519 介護保険	520 介護保険	521 介護保険	522 介護保険	523 介護保険	524 介護保険	525 介護保険	526 介護保険	527 介護保険	528 介護保険	529 介護保険	530 介護保険	531 介護保険	532 介護保険	533 介護保険	534 介護保険	535 介護保険	536 介護保険	537 介護保険	538 介護保険	539 介護保険	540 介護保険	541 介護保険	542 介護保険	543 介護保険	544 介護保険	545 介護保険	546 介護保険	547 介護保険	548 介護保険	549 介護保険	550 介護保険	551 介護保険	552 介護保険	553 介護保険	554 介護保険	555 介護保険	556 介護保険	557 介護保険	558 介護保険	559 介護保険	560 介護保険	561 介護保険	562 介護保険	563 介護保険	564 介護保険	565 介護保険	566 介護保険	567 介護保険	568 介護保険	569 介護保険	570 介護保険	571 介護保険	572 介護保険	573 介護保険	574 介護保険	575 介護保険	576 介護保険	577 介護保険	578 介護保険	579 介護保険	580 介護保険	581 介護保険	582 介護保険	583 介護保険	584 介護保険	585 介護保険	586 介護保険	587 介護保険	588 介護保険	589 介護保険	590 介護保険	591 介護保険	592 介護保険	593 介護保険	594 介護保険	595 介護保険	596 介護保険	597 介護保険	598 介護保険	599 介護保険	600 介護保険	601 介護保険	602 介護保険	603 介護保険	604 介護保険	605 介護保険	606 介護保険	607 介護保険	608 介護保険	609 介護保険	610 介護保険	611 介護保険	612 介護保険	613 介護保険	614 介護保険	615 介護保険	616 介護保険	617 介護保険	618 介護保険	619 介護保険	620 介護保険	621 介護保険	622 介護保険	623 介護保険	624 介護保険	625 介護保険	626 介護保険	627 介護保険	628 介護保険	629 介護保険	630 介護保険	631 介護保険	632 介護保険	633 介護保険	634 介護保険	635 介護保険	636 介護保険	637 介護保険	638 介護保険	639 介護保険	640 介護保険	641 介護保険	642 介護保険	643 介護保険	644 介護保険	645 介護保険	646 介護保険	647 介護保険	648 介護保険	649 介護保険	650 介護保険	651 介護保険	652 介護保険	653 介護保険	654 介護保険	655 介護保険	656 介護保険	657 介護保険	658 介護保険	659 介護保険	660 介護保険	661 介護保険	662 介護保険	663 介護保険	664 介護保険	665 介護保険	666 介護保険	667 介護保険	668 介護保険	669 介護保険	670 介護保険	671 介護保険	672 介護保険	673 介護保険	674 介護保険	675 介護保険	676 介護保険	677 介護保険	678 介護保険	679 介護保険	680 介護保険	681 介護保険	682 介護保険	683 介護保険	684 介護保険	685 介護保険	686 介護保険	687 介護保険	688 介護保険	689 介護保険	690 介護保険	691 介護保険	692 介護保険	693 介護保険	694 介護保険	695 介護保険	696 介護保険	697 介護保険	698 介護保険	699 介護保険	700 介護保険	701 介護保険	702 介護保険	703 介護保険	704 介護保険	705 介護保険	706 介護保険	707 介護保険	708 介護保険	709 介護保険	710 介護保険	711 介護保険	712 介護保険	713 介護保険	714 介護保険	715 介護保険	716 介護保険	717 介護保険	718 介護保険	719 介護保険	720 介護保険	721 介護保険	722 介護保険	723 介護保険	724 介護保険	725 介護保険	726 介護保険	727 介護保険	728 介護保険	729 介護保険	730 介護保険	731 介護保険	732 介護保険	733 介護保険	734 介護保険	735 介護保険	736 介護保険	737 介護保険	738 介護保険	739 介護保険	740 介護保険	741 介護保険	742 介護保険	743 介護保険	744 介護保険	745 介護保険	746 介護保険	747 介護保険	748 介護保険	749 介護保険	750 介護保険	751 介護保険	752 介護保険	753 介護保険	754 介護保険	755 介護保険	756 介護保険	757 介護保険	758 介護保険	759 介護保険	760 介護保険	761 介護保険	762 介護保険	763 介護保険	764 介護保険	765 介護保険	766 介護保険	767 介護保険	768 介護保険	769 介護保険	770 介護保険	771 介護保険	772 介護保険	773 介護保険	774 介護保険	775 介護保険	776 介護保険	777 介護保険	778 介護保険	779 介護保険	780 介護保険	781 介護保険	782 介護保険	783 介護保険	784 介護保険	785 介護保険	786 介護保険	787 介護保険	788 介護保険	789 介護保険	790 介護保険	791 介護保険	792 介護保険	793 介護保険	794 介護保険	795 介護保険	796 介護保険	797 介護保険	798 介護保険	799 介護保険	800 介護保険	801 介護保険	802 介護保険	803 介護保険	804 介護保険	805 介護保険	806 介護保険	807 介護保険	808 介護保険	809 介護保険	810 介護保険	811 介護保険	812 介護保険	813 介護保険	814 介護保険	815 介護保険	816 介護保険	817 介護保険	818 介護保険	819 介護保険	820 介護保険	821 介護保険	822 介護保険	823 介護保険	824 介護保険	825 介護保険	826 介護保険	827 介護保険	828 介護保険	829 介護保険	830 介護保険	831 介護保険	832 介護保険	833 介護保険	834 介護保険	835 介護保険	836 介護保険	837 介護保険	838 介護保険	839 介護保険	840 介護保険	841 介護保険	842 介護保険	843 介護保険	844 介護保険	845 介護保険	846 介護保険	847 介護保険	848 介護保険	849 介護保険	850 介護保険	851 介護保険	852 介護保険	853 介護保険	854 介護保険	855 介護保険	856 介護保険	857 介護保険	858 介護保険	859 介護保険	860 介護保険	861 介護保険	862 介護保険	863 介護保険	864 介護保険	865 介護保険	866 介護保険	867 介護保険	868 介護保険	869 介護保険	870 介護保険	871 介護保険	872 介護保険	873 介護保険	874 介護保険	875 介護保険	876 介護保険	877 介護保険	878 介護保険	879 介護保険	880 介護保険	881 介護保険	882 介護保険	883 介護保険	884 介護保険	885 介護保険	886 介護保険	887 介護保険	888 介護保険	889 介護保険	890 介護保険	891 介護保険	892 介護保険	893 介護保険	894 介護保険	895 介護保険	896 介護保険	897 介護保険	898 介護保険	899 介護保険	900 介護保険	901 介護保険	902 介護保険	903 介護保険	904 介護保険	905 介護保険	906 介護保険	907 介護保険	908 介護保険	909 介護保険	910 介護保険	911 介護保険	912 介護保険	913 介護保険	914 介護保険	915 介護保険	916 介護保険	917 介護保険	918 介護保険	919 介護保険	920 介護保険	921 介護保険	922 介護保険	923 介護保険	924 介護保険	925 介護保険	926 介護保険	927 介護保険	928 介護保険	929 介護保険	930 介護保険	931 介護保険	932 介護保険	933 介護保険	934 介護保険	935 介護保険	936 介護保険	937 介護保険	938 介護保険	939 介護保険	940 介護保険	941 介護保険	942 介護保険	943 介護保険	944 介護保険	945 介護保険	946 介護保険	947 介護保険	948 介護保険	949 介護保険	950 介護保険	951 介護保険	952 介護保険	953 介護保険	954 介護保険	955 介護保険	956 介護保険	957 介護保険	958 介護保険	959 介護保険	960 介護保険	961 介護保険	962 介護保険	963 介護保険	964 介護保険	965 介護保険	966 介護保険	967 介護保険	968 介護保険	969 介護保険	970 介護保険	971 介護保険	972 介護保険	973 介護保険	974 介護保険	975 介護保険	976 介護保険	977 介護保険	978 介護保険	979 介護保険	980 介護保険	981 介護保険	982 介護保険	983 介護保険	984 介護保険	985 介護保険	986 介護保険	987 介護保険	988 介護保険	989 介護保険	990 介護保険	991 介護保険	992 介護保険	993 介護保険	994 介護保険	995 介護保険	996 介護保険	997 介護保険	998 介護保険	999 介護保険	1000 介護保険	1001 介護保険	1002 介護保険	1003 介護保険	1004 介護保険	1005 介護保険	1006 介護保険	1007 介護保険	1008 介護保険	1009 介護保険	1010 介護保険	1011 介護保険	1012 介護保険	1013 介護保険	1014 介護保険	1015 介護保険	1016 介護保険	1017 介護保険	1018 介護保険	1019 介護保険	1020 介護保険	1021 介護保険	1022 介護保険	1023 介護保険	1024 介護保険	1025 介護保険	1026 介護保険	1027 介護保険	1028 介護保険	1029 介護保険	1030 介護保険	1031 介護保険	1032 介護保険	1033 介護保険	1034 介護保険	1035 介護保険	1036 介護保険	1037 介護保険	1038 介護保険	1039 介護保険	1040 介護保険	1041 介護保険	1042 介護保険	1043 介護保険	1044 介護保険	1045 介護保険	1046 介護保険	1047 介護保険	1048 介護保険	1049 介護保険	1050 介護保険	1051 介護保険	1052 介護保険	1053 介護保険	1054 介護保険	1055 介護保険	1056 介護保険	1057 介護保険	1058 介護保険	1059 介護保険	1060 介護保険	1061 介護保険	1062 介護保険	1063 介護保険	1064 介護保険	1065 介護保険	1066 介護保険	1067 介護保険	1068 介護保険	1069 介護保険	1070 介護保険	1071 介護保険	1072 介護保険	1073 介護保険	1074 介護保険	1075 介護保険	1076 介護保険	1077 介護保険	1078 介護保険	1079 介護保険	1080 介護保険	1081 介護保険	1082 介護保険	1083 介護保険	1084 介護保険	1085 介護保険	1086 介護保険	1087 介護保険	1088 介護保険	1089 介護保険	1090 介護保険	1091 介護保険	1092 介護保険	1093 介護保険	1094 介護保険	1095 介護保険	1096 介護保険	1097 介護保険

(2) ルール

・全般

No.	内容
1	業務ユニット間で連携するデータ項目を記載する。
2	業務ユニット間連携以外のデータ項目は、参考情報として記載する。 また、業務ユニット間連携以外のデータ項目は、No 欄を黒地に白抜き文字で記載する。
3	他業務ユニット、外部団体等との項目入出力を記載する。
4	業務ユニットへの入力情報は、添付資料は名称のみ記載する。業務ユニットのI/Oに利用するものは項目レベルまで記載する。
5	業務ユニットから出力情報は、住民等最終的な外部環境への情報は名称のみ記載する。業務ユニットでI/Oとするものは項目レベルまで記載する。
6	自治体内の他ユニットと、自治体間においての入力・参照項目は、全て詳細に分析する。 外部からの入力・参照項目については、基本的に入力項目のみ詳細に分析する。ただし、この入力項目が、全国的に規定された情報である場合は、情報名のみで可である。
7	全銀協フォーマットなど、すでに統一化されている情報を使用する場合、項目レベルの定義は行わず、項目説明欄に全銀協フォーマットを適用する旨を記載する。

・情報項目

No.	内容
1	情報項目毎に、コード化(コード辞書の利用)の有無を記載する。
2	フリガナのデータタイプは、全角で統一する。
3	項目属性の9タイプは、数値としての意味を持つ場合を除いて、Xタイプにする。

(3) 留意事項

- ・桁数は、業務ユニット間の連携で流通するときの最大桁数(文字列の場合は最大文字数)を表す。
各業務ユニットがシステム内部のDB等に情報を格納するときの桁数(または文字数)ではない。
- ・インタフェース仕様では、業務ユニット間で連携するデータ項目について標準として規定する。
外部機関との連携等、業務ユニット間連携以外のデータ項目は、参考情報として記載する。
- ・電子申請、電子申告、標準的データ対応に関しては、全国的に標準であるeL-TAXの場合は、eL-TAXに従う必要があるため、各項目を詳細に分析する必要はない。情報名欄に「○○情報」と記入し、項目説明に標準である旨を記載する。また、I/Oの欄は、「92 電子申告」の欄に「I」と記載する。全国的に標準でない電子申請や個別団体で実施している電子申告の場合は、詳細の項目を分析し、「91 電子申請」と外部実態である「住民」(または、「92 電子申告」と外部実態の「納税義務者」等)の両方の欄に、「I」を記載する。その他、電子申請・電子申告に限らず、標準であるもの(外部により規定されている等も含む)については、詳細項目の記入は不要とする。
- ・情報名は、機能情報関連図(DFD)の階層1・インタフェース仕様、データ一覧において整合性をとる。

1.1.5 データ一覧

(1)概要

データ一覧では、業務ユニットが所管するデータの中で、他業務ユニットとSOAPのサービス呼出しによるデータ連携で提供する情報を集約し明確化する。

・記載イメージ

データ一覧				業務ユニット名：住民基本台帳								
N0	情報名			キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	項目説明
							CD	コード名	最小	最大		
1	住基情報								1	1		
2		識別番号		○	X	15			1	1		人を統一的に管理する番号
3		世帯番号		○	X	15			1	1		住基世帯を管理する番号
4		住民種別			X	1	○	住民種別	1	1		人の種別（住民・外国人・住在外・法人）を表す区分
5		住民状態			X	1	○	住民状態	1	1		人の状態（住民・転出・死亡・消除）を表す区分
6		住民票コード			X	11			0	1		住民基本台帳ネットワークの管理番号
7		氏名			氏名情報				1	1	○	住民基本台帳の氏名
8		性別			X	1	○	性別	1	1		住民基本台帳の性別
9		生年月日			生年月日情報				1	1		住民基本台帳の生年月日
10		続柄			続柄情報				1	1		住民基本台帳の世帯主との続柄
11		世帯主氏名			氏名情報				1	1		住民基本台帳の世帯主名
12		現住所			住所情報				1	1		住民基本台帳の現住所
13		前住所			住所情報				1	1		住民基本台帳の前住所
14		転出先			住所情報				1	1		住民基本台帳の転出先
15		転出先区分			X	1	○	住所区分	1	1		住民基本台帳の転出先が予定か確定かを示す区分
16		本籍			N	100			0	1	○	住民基本台帳の本籍
17		本籍住所コード			X	30	○	住所	0	1		住民基本台帳の本籍の住所コード
18		筆頭者			N	100			0	1	○	住民基本台帳の筆頭者
19		住民となった情報							1	1		住民基本台帳の住民となった（転入・出生など）情報

図 1.1.5 データ一覧

・記載内容

No.	項目名	内容
1	情報名	データ項目の名称を記載する。
2	キー	データ項目をキーとして使用するか否かを記載する。 ○:キーにする (無記載):キーにしない
3	データ型	データ項目のデータ型を記載する。
4	桁数	データ項目の桁数を記載する。
5	コードーCD	データ項目のコード化(コード辞書の利用)の有無を記載する。 ○:コード化する (無記載):コード化しない
6	コードーコード名	データ項目をコード化する場合、使用するコードの名称を記載する。
7	出現回数ー最小	データ項目の出現回数の下限を記載する。
8	出現回数ー最大	データ項目の出現回数の上限を記載する。
9	外字使用	データ項目が外字を含むデータを取り得るか否かを記載する。 ○:外字を含む場合がある (無記載):外字を含む場合はない
10	項目説明	データ項目の説明等を記載する。

(2) ルール

・全般

No.	内容
1	他業務ユニットとSOAPのサービス呼出しにより連携するデータ項目を記載する。

・情報項目

No.	内容
1	情報項目毎に、コード化(コード辞書の利用)の有無を記載する。
2	フリガナのデータタイプは、全角で統一する。
3	項目属性の9タイプは、数値としての意味を持つ場合を除いて、ほとんどXタイプにする。

(3) 留意事項

- ・桁数は、業務ユニット間の連携で流通するときの最大桁数(文字列の場合は最大文字数)を表す。
各業務ユニットがシステム内部のDB等に情報を格納するときの桁数(または文字数)ではない。
- ・出現回数の考え方は、XMLスキーマ上におけるタグの扱いが基本となる。
最小出現回数が0の場合、タグの省略が可能。
最小出現回数が1の場合、タグの省略は不可。(※データの値を空白、NULLにすることは可能。)
- ・データ項目が外字を含むデータを取り得る場合、外字使用に○を記載する。
また、XMLスキーマを定義する際に、外字を含むデータ項目とは別に、外字データを含まない(内字に変換した)データ項目を設ける。
- ・情報名は、機能情報関連図(DFD)の階層1・インタフェース仕様、データー一覧において整合性をとる。

1.1.6 インタフェース一覧

(1)概要

インタフェース一覧では、業務ユニットが提供側の業務ユニットとして、SOAPのサービス呼出しにより、情報を提供するためのインタフェースを定義する。

インタフェース一覧は、入力・出力を定義したインタフェース一覧と、その中のメッセージ名から関連づけられたメッセージ定義から成る。

・記載イメージ

インタフェース一覧		業務ユニット名：住民基本台帳	
インタフェース番号	入出力	メッセージ定義	WSDL定義
1-1	入力 識別番号	識別番号メッセージ	gxm 01s-0200.xsd gxm 01s-0200.wsdl
	出力 個人情報	個人情報メッセージ	
1-2	入力 世帯番号	世帯番号メッセージ	gxm 01s-0200.xsd gxm 01s-0200.wsdl
	出力 世帯情報	世帯情報メッセージ	
	入力		
	出力		
	入力		
	出力		
	入力		
	出力		
	入力		
	出力		
	入力		
	出力		
	入力		
	出力		
	入力		
	出力		
	入力		
	出力		
	入力		
	出力		

メッセージ定義				メッセージ定義名：世帯情報メッセージ				
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数	外字 使用	項目説明
				CD	コード名	最小 最大		
1	世帯情報					1 1		世帯を構成する全員の住基情報
2	世帯構成員情報					1 N		
3	識別番号	X	15			1 1		人を統一的に管理する番号
4	世帯番号	X	15			1 1		住基世帯を管理する番号
5	住民種別	X	1	○	住民種別	1 1		人の種別（住民・外国人・住登外・法人）を表す区分
6	住民状態	X	1	○	住民状態	1 1		人の状態（住民・転出・死亡・削除）を表す区分
7	住民票コード	X	11			0 1		住民基本台帳ネットワークの管理番号
8	氏名	氏名情報				1 1	○	住民基本台帳の氏名
9	性別	X	1	○	性別	1 1		住民基本台帳の性別
10	生年月日情報	生年月日情報				1 1		住民基本台帳の生年月日
11	続柄	続柄情報				1 1		住民基本台帳の世帯主との続柄
12	世帯主氏名	氏名情報				1 1		住民基本台帳の世帯主名
13	現住所	住所情報				1 1		住民基本台帳の現住所
14	前住所	住所情報				1 1		住民基本台帳の前住所
15	転出先	住所情報				1 1		住民基本台帳の転出先
16	転出先区分	X	1	○	住所区分	1 1		住民基本台帳の転出先が予定か確定かを示す区分
17	本籍	N	100			0 1	○	住民基本台帳の本籍
18	本籍住所コード	X	30	○	住所	0 1		住民基本台帳の本籍の住所コード

図 1.1.6 インタフェース一覧

・記載内容（インタフェース一覧）

No.	項目名	内容
1	インタフェース番号	インタフェースの識別番号を記載する。
2	入出力	インタフェースの入出力の区別を記載する。
3	メッセージ定義	インタフェースが使用するメッセージ定義の名称を記載する。
4	WSDL定義	インタフェースのWSDL定義の電子ファイル名を記載する。

・記載内容（メッセージ定義）

No.	項目名	内容
1	データ項目名	データ項目の名称を記載する。
2	データ型	データ項目のデータ型を記載する。
3	桁数	データ項目の桁数を記載する。
4	コードーCD	データ項目のコード化(コード辞書の利用)の有無を記載する。 ○:コード化する (無記載):コード化しない
5	コードーコード名	データ項目をコード化する場合、使用するコードの名称を記載する。
6	出現回数ー最小	データ項目の出現回数の下限を記載する。
7	出現回数ー最大	データ項目の出現回数の上限を記載する。
8	外字使用	データ項目が外字を含むデータを取り得るか否かを記載する。 ○:外字を含む場合がある (無記載):外字を含む場合はない
9	項目説明	データ項目の説明等を記載する。

(2) ルール

・インタフェース一覧

No.	内容
1	メッセージ定義の名称には、XML タグ名に使用可能な文字を用いない。
2	WSDL定義の電子ファイル名は、命名規則に従う。

・メッセージ定義

No.	内容
1	データ項目の名称には、XML タグ名に使用可能な文字を用いない。

(3) 留意事項

- ・SOAPのサービス呼出し(オンライン連携)により、情報を提供するためのインタフェースを定義する。
- ・桁数は、XML スキーマ化した時の最大桁数となる。
- ・出現回数の考え方は、XML スキーマ上におけるタグの扱いが基本となる。
 最小出現回数が0の場合、タグの省略が可能。
 最小出現回数が1の場合、タグの省略は不可。
 ※文字列型の項目についてはデータの値を空白(長さ0の文字列)にすることは可能。
 数値型の項目について、Null 値を認める場合は、正規の Null 値表現(<要素名 nil="true"></要素名>)を行う。
- ・データ項目が外字を含むデータを取り得る場合、外字使用に○を記載する。
 また、XML スキーマを定義する際に、外字を含むデータ項目とは別に、外字データを含めない(内字に変換した)データ項目を設ける。

1.1.7 XMLスキーマ

(1) 概要

XMLスキーマでは、データ一覧をもとにXML形式に変換する。

(2) ルール

- ・プラットフォーム通信仕様のXML定義仕様に従う。
- ・XMLスキーマは業務ユニット毎に定義する。
- ・項目セット辞書は、別のXMLスキーマとして定義する。
- ・データ一覧において外字使用と定義されたデータ項目は、外字を含むデータ項目とは別に、外字データを含まない(内字に変換した)データ項目を設ける。
また、その際、データ項目の名称は以下のとおりとする。
外字を含むデータ項目 : 「外字」+「(データ一覧で定義された情報名又は、
項目セット辞書で定義された項目名)」
外字データを含まないデータ項目 : 「内字」+「(データ一覧で定義された情報名又は、
項目セット辞書で定義された項目名)」

(3) 留意事項

- ・データ項目が外字を含むデータを取り得る場合、XMLスキーマを定義する際に、外字を含むデータ項目とは別に、外字データを含まない(内字に変換した)データ項目を設ける。

1.1.8 WSDL定義

(1) 概要

WSDL定義では、インタフェース一覧をもとにWSDLに変換する。

WSDL定義は、インタフェース一覧に相当するWSDL定義ファイルと、メッセージ定義に相当するXMLスキーマ定義から成る。

(2) ルール

- ・WSDL定義

プラットフォーム通信仕様のWSDLのXML定義記述要件に従う。

- ・XMLスキーマ定義

プラットフォーム通信仕様のXML定義仕様に従う。

(3) 留意事項

特になし

1.2 辞書の定義

1.2.1 項目セット辞書

(1) 概要

項目セット辞書では、インタフェースの設計等を効率的に進めることを目的として、インタフェース仕様等で共通的に利用されるデータ項目の集合体を標準化し、定義する。

・記載イメージ

項目セット辞書 ※複数の項目を組合せた項目セット辞書						版		作成日	
項番	項目セット名	項目名	CD	データ型	桁数	出現回数		外字 使用	項目の説明
						最小	最大		
1	日付情報	年		X	4	1	1		西暦年
		月		X	2	1	1		右詰め残り前「0」
		日		X	2	1	1		右詰め残り前「0」
2	氏名情報	氏名		N	100	1	1	○	姓と名の間に全角の空白を一文字入れる。
		フリガナ		N	100	1	1		姓と名の間に全角の空白を一文字入れる。
3	住所情報	住所コード	○	X	30	1	1		LASDEC全国町字コード等の利用を想定。住所のコード化が必要な範囲に応じて自治体で個別に設定する。
		住所		N	100	1	1		
		方書		N	150	1	1	○	
		郵便番号		X	10	1	1		

図 1.2.1 項目セット辞書

・記載内容

No.	項目名	内容
1	項目セット名	項目セットの名称を記載する。
2	項目名	データ項目の名称を記載する。
3	CD	データ項目のコード化(コード辞書の利用)の有無を記載する。 ○:コード化する (無記載):コード化しない
4	データ型	データ項目のデータ型を記載する。
5	桁数	データ項目の桁数を記載する。
6	出現回数	データ項目の出現回数を記載する。
7	外字使用	データ項目が外字を含むデータを取り得るか否かを記載する。 ○:外字を含む場合がある (無記載):外字を含む場合はない
8	項目の説明	データ項目の説明等を記載する。

※「項目名」以下は、項目セットを構成する各データ項目の定義。

(2) ルール

・全般

No.	内容
1	説明には、データ項目の意味や、値のセットの仕方や注意事項を記載する。

(3) 留意事項

- ・項目セット辞書は、インタフェース仕様・データー一覧等を参照する時に利用する。
- ・項目セットは複数の項目セットを組合せて(再帰的に)定義することができる。また、その様な項目セット辞書を複合型と呼ぶ。
- ・桁数は、XML スキーマ化した時の最大桁数となる。
- ・出現回数の考え方は、XML スキーマ上におけるタグの扱いが基本となる。
 - 出現回数が0の場合、タグの省略が可能。
 - 出現回数が1の場合、タグの省略は不可。
 - ※文字列型の項目についてはデータの値を空白(長さ0の文字列)にすることは可能。
 - 数値型の項目について、Null 値を認める場合は、正規の Null 値表現(<要素名 nil="true"></要素名>)を行う。
- ・データ項目が外字を含むデータを取り得る場合、外字使用に○を記載する。
 - また、XML スキーマを定義する際に、外字を含むデータ項目とは別に、外字データを含まない(内字に変換した)データ項目を設ける。

1.2.2 コード辞書

(1) 概要

コード辞書では、コード化されるデータ項目に対するコード値およびコード値の内容を定義する。

・記載イメージ

コード辞書(共通)					版	作成日
項番	項目名	データ型	桁数	コード値	コード値の内容	
1	有無	X	1	0	無	
				1	有	
2	年号	X	2	01	明治	
				02	大正	
				03	昭和	
				04	平成	
				99	その他	
3	性別	X	1	1	男	
				2	女	
				3	不明(未記入)	
4	住民種別	X	1	1	住民記録	
				2	外国人	
				3	住登外個人	
				4	法人	
				5	共有者	
5	住民状態	X	1	1	住登者	
				2	未登録住民者	
				3	転出者	
				4	死亡者	
				9	その他消除者	

図 1.2.2 コード辞書

・記載内容

No.	項目名	内容
1	項目名	コードの名称を記載する。
2	データ型	コードのデータ型を記載する。
3	桁数	コードの桁数を記載する。
4	コード値	コード値を記載する。
5	コード値の内容	コード値が示す内容を記載する。

※「コード値」以下は、コードを構成する各コード値の定義。

(2) ルール

・全般

No.	内容
1	標準規格または特定団体で定義されたコードを使用する場合は、その旨を記載する。
2	コード値の内容には、コード値が示す内容を正式名称で記載する。 (画面表示の文言に用いる目的では無い為、略語を用いて、文字数を短くする必要は無い。)

(3) 留意事項

- ・コード辞書は、インタフェース仕様・データ一覧等を参照する時に利用する。
- ・コード辞書は、業務ユニット間のSOAPのサービス呼出しによるデータ連携の実装時に必要となるデータ項目のコードを中心に定義する。インタフェース仕様などに表現されている外部機関等とのデータ連携におけるデータ項目については、その全てを規定する必要はない。

2. 付則

2.1 業務ユニット番号の付番

(1) 基本体系

[0-9][0-9]

(2) 付番ルール

業務ユニットは、フロント系業務ユニット、バック系業務ユニット(基幹系業務ユニット、内部管理系業務ユニット)、共通系業務ユニットに分類される。業務ユニット番号は、業務ユニットの分類毎に付番する。

(業務ユニットの分類に関しては、「アーキテクチャ標準仕様」の「4.3.1 業務ユニットの分類」を参照のこと。)

業務ユニット番号	内容
0	※未使用
1 } 49	バック系業務ユニット(基幹系業務ユニット)
50 } 69	バック系業務ユニット(内部管理系業務ユニット)
70 } 89	※プライベート領域
90 } 99	フロント系業務ユニット

(3) 留意事項

- ・上位桁が‘0’の場合には、上位桁を省略して表記する。
(例) ‘01’ → ‘1’
- ・プライベート領域の番号は、SI段階で自治体その他の利用者が独自に定義した業務ユニットに対して付番することができる。
ただし、その業務ユニットが自治体の範囲を超えて複数サイトに跨る場合には、使用できない。
- ・今後、新たな業務ユニットを定義する場合、適宜、付番ルールの見直しを行う。

2.2 機能番号の付番

(1) 基本体系

[業務ユニット番号].[0-9]*

(2) 付番ルール

- ・機能番号は、機能階層の階層毎に付番する。

(3) 留意事項

- ・機能番号の最上位は、業務ユニット番号を示す。

また、機能番号の「.(ピリオド)」は機能の階層構造を示す。

- (例) ‘1’ … 業務ユニット(機能階層0の機能)の機能を指示す。
‘1.1’ … 業務ユニット‘1’を構成する機能階層(レベル01)の機能を指示す。
‘1.1.1’ … 業務ユニット‘1’を構成する機能階層(レベル02)の機能を指示す。

2.3 スキーマの命名

(1) 基本体系の命名規則

WSDL定義ファイル、メッセージ定義ファイル、XMLスキーマファイルは、業務ユニットあたり1つを基本とする。

- WSDL 定義ファイル名

「地域情報PF仕様種別の文字列」+「定義識別子」+「s」+「-」+「バージョン文字列」.wsdl

(例) 住民基本台帳 : lgxml01s-2010-01.wsdl
印鑑登録 : lgxml02s-2010-01.wsdl

- メッセージ定義ファイル名

「地域情報PF仕様種別の文字列」+「定義識別子」+「s」+「-」+「バージョン文字列」.xsd

(例) 住民基本台帳 : lgxml01s-2010-01.xsd
印鑑登録 : lgxml02s-2010-01.xsd

- XML スキーマファイル名

「地域情報PF仕様種別の文字列」+「定義識別子」+「-」+「バージョン文字列」.xsd

(例) 住民基本台帳 : lgxml01-2010-01.xsd
印鑑登録 : lgxml02-2010-01.xsd
項目セット辞書 : lgxml00-2010-01.xsd

(2) 複数ファイルに分割する場合の命名規則

定義識別子(「業務ユニット識別子」+「業務ユニット番号」)に連番二桁をつけて分割する。分割は01から開始し、99までとする。

(例) SI段階で利用者が独自の業務ユニット「70」を定義し、バージョン文字列が「20xx-xx」の場合

- WSDL定義ファイル名(分割の場合)

(その1): lgxml7001s-20xx-xx.wsdl
(その2): lgxml7002s-20xx-xx.wsdl

- メッセージ定義ファイル名(分割の場合)

(その1): lgxml7001s-20xx-xx.xsd
(その2): lgxml7002s-20xx-xx.xsd

- XMLスキーマファイル名(分割の場合)

(その1): lgxml7001-20xx-xx.xsd
(その2): lgxml7002-20xx-xx.xsd

(3) 留意事項

- 自治体業務アプリケーションユニット標準仕様の地域情報PF仕様種別の文字列は「lgxml」である。
- 定義識別子は、「業務ユニット識別子」+「業務ユニット番号」であるが、自治体業務アプリケーションユニット標準仕様では業務ユニット識別子がない(空白)なので、業務ユニット番号のみとなる。
- バージョン文字列は、「西暦4桁-修正回数2桁」である。

2.4 項目セット辞書の命名

(1) 基本体系

「地域情報PF仕様種別の文字列(lgxml)」+「業務ユニット識別子」+「00」+「-」+「バージョン文字列」.xsd

(例) lgxml00-2010-01.xsd

(2) 留意事項

- ・自治体業務アプリケーションユニット標準仕様の地域情報PF仕様種別の文字列は「lgxml」である。
- ・自治体業務アプリケーションユニット標準仕様では業務ユニット識別子がない(空白である)。
- ・バージョン文字列は、「西暦4桁-修正回数2桁」である。
- ・項目セット辞書は、自治体業務アプリケーションユニット標準仕様全体で1つ定義する。